

ワケあり伊豆半島④

岬めぐり in 下田

～ペリーも愛した青い海～

下田湾の東側に位置する須崎半島は天然の博物館。

爪木崎では規則的に縦の亀裂が入った柱状節理群、

恵比須島・千畳敷では隆起によって形成された平らな大地、

弁天島では美しい縞模様(斜交層理)が間近に見られます。

海岸の岩場では、イソギクやハマカンゾウなどの植物がたくましく根を張っています。

幕末に黒船でやって来たペリーも下田の美しさに思わず息をのんだと言われています。

美しい自然と開国の歴史が下田の魅力です。

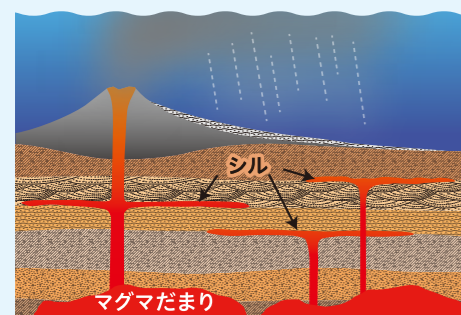


イソギク



① 爪木崎の俵磯

爪木崎西側の俵磯には、柱状の岩が一面に積み重なっています。この柱のような岩は「柱状節理」と呼ばれ、マグマや溶岩が冷え固まる時に体積が縮んでできました。爪木崎の柱状節理は、海底火山の噴火でたまった地層の面に沿ってマグマが入り込んでできた「シル」と呼ばれる岩体の中のできたもので、伊豆と本州の衝突にともなう隆起と浸食で地表に姿を現しました。



柱状節理がいっぱい!

② 恵比須島 千畳敷

恵比須島の周囲には、「千畳敷」と呼ばれる平たんな磯が広がっていて、絶好の磯遊びスポットになっています。千畳敷の中にある人工的に作られたようなくぼみは採石の跡。海底につもった火山灰や軽石の地層は、加工しやすく耐火性にも優れた石材として伊豆の各地で産出されていました。こうした石材は伊豆石(伊豆軟石)と呼ばれ、下田市街地をはじめとした古い街並みの中に使われています。



千畳敷



石の切り出し跡があるよ

③ 弁天島

しましまの地層は、数百万年前に海底火山から噴出した火山灰や軽石が波や海流によって運ばれてきたもので、複雑な模様は海流の影響です。海底で形成された証拠に貝の化石が見つかることもあります。それが地殻変動によって隆起した後、波に浸食されて現在の姿となりました。幕末の思想家、吉田松陰が密航を企てて、ペリーの黒船に向かって舟を漕ぎ出した場所としても知られています。



しましまの地層だよ

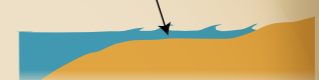
須崎半島はどうして平べったいの?



須崎半島は、まわりを崖に囲まれているが、全体としては平べったい形をしています。かつて海面近くにあつて、おもに波によって削られてできた平たん面が段階的に隆起してきた「隆起海成段丘」という地形。過去から現在に続くこうした隆起と波によりこのような平べったい半島ができあがりました。

伊豆各地でおこなわれた伊豆石の切り出しはこうしてできた平たん面でもおこなわれました。その切り出し跡を「恵比須島 千畳敷」で伊豆石を使った建物を「ペリーロード」で見ることができます!

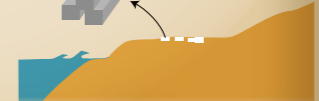
①波の浸食によって平たん面ができる



②土地が隆起して次の平たん面ができる



③石材の切り出し



④ 龍宮窟

海食洞の天井が一部崩れて、直径50メートルほどの穴(天窓)が開いた洞窟です。伊豆の各地にある天窓の中でも最大級であり、海底火山から噴出した黄褐色の火山礫と、天窓の底を満たす青い海水とのコントラストが神秘的。上からのぞき込むとハート形にみえることでカップルに人気のスポットとなっています。



小さな石切り場跡がココにあります

隣には、強い風によって吹き寄せられた砂が積みあがってできた天然の砂のグレンデ・田牛サンドスキー場があります。砂の斜面は約30度あり、ソリ遊びをする家族連れでにぎわいます。伊豆急下田駅からバスで20分、田牛前の浜下車。



⑤ 白浜海岸・白濱神社

海岸の大明神岩に立つ白濱神社の赤鳥居は、伊豆諸島に宿る神々の象徴でもあります。浅い海底火山の時代(1000万~200万年前)に形成され、伊豆半島の土台を作る「白浜層群」の名前のルーツともなっています。伊豆急下田駅からバスで10分、白浜神社下車。



伊豆石の建物

⑥ ペリーロード

1854年、黒船来航で日本開国の舞台となった下田の中でも、伊豆石造りの古い建物が並ぶ風情ある通りです。ペリーと江戸幕府との間で条約締結交渉を行った了仙寺には、安政大地震の津波の痕跡も残っています。伊豆急下田駅から徒歩15分。

モデルコース

岬めぐり

7km/徒歩で2.5時間

①爪木崎→②恵比須島
→③弁天島→柿崎神社前



伊豆急下田駅からバスで20分、爪木崎下車。
帰りは柿崎神社前からバスで5分で伊豆急下田駅。

ガイドのオススメ



須崎の「ごん太」A(下田市須崎1284-1)郷土料理のいけんだ煮味噌が常時食べられるのはここだけ!



昭和湯B(下田市三丁目5-11)ペリーロード近くにある銭湯。もちろん天然温泉。



さんま寿司
ペリーは母国にさんまを持ち帰りました。

～こぼなし～

ペリーが率いる黒船は1853年に浦賀沖に現れました。翌54年2月に再来航したペリーは横浜で日米和親条約を締結した後、下田に上陸。了仙寺で和親条約の細則を定めた下田条約に調印しました。同年11月にはロシアのブチャーチンがディアナ号に乗って下田に来航しました。ところが11月4日に発生した安政大地震の津波を受けてディアナ号は大破。ロシア使節一行は翌55年、戸田(沼津市)の船大工が建造したヘダ号に乗って帰国しました。

注意事項

●歩きやすい服装、靴でご参加ください。